HSBC世界資産選抜

投資信託説明書（交付目論見書）

使用開始日　2026年10月16日

育てるコース（資産形成型）／収穫コース（予想分配金提示型）／充実生活コース（定率払出型）

追加型投信／内外／資産複合

種まきコース（安定運用型）

追加型投信／内外／債券

愛称 人生100年時代

・本書（本投資信託説明書（交付目論見書））は、金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書です。
・以下の委託会社の＜照会先＞にて販売会社（当ファンドの購入の申込取扱場所、本書の提供場所）などの詳細情報をご確認いただけます。
※投資信託説明書（請求目論見書）は、＜照会先＞ホームページにて閲覧・入手（ダウンロード）が可能です。
※本書には当ファンドの約款の主な内容が含まれていますが、約款の全文は投資信託説明書（請求目論見書）に掲載されています。

委託会社（ファンドの運用の指図を行う者です。）

HSBCアセットマネジメント株式会社：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第308号

＜照会先＞ 電話番号：03-3548-5690（受付時間：委託会社の営業日の午前9時～午後5時）
ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp

受託会社（ファンドの信託財産の保管および管理を行う者です。）

農中信託銀行株式会社

HSBC Asset Management

本書は、以下の異なるファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」から構成されております。

ＨＳＢＣ世界資産選抜 育てるコース（資産形成型）	使用開始日 2026年10月16日
ＨＳＢＣ世界資産選抜 収穫コース（予想分配金提示型）	
ＨＳＢＣ世界資産選抜 充実生活コース（定率払出型）	
ＨＳＢＣ世界資産選抜 種まきコース（安定運用型）	

この冊子の前半部分は育てるコース（資産形成型）、収穫コース（予想分配金提示型）、充実生活コース（定率払出型）の「投資信託説明書（交付目論見書）」、後半部分は種まきコース（安定運用型）の「投資信託説明書（交付目論見書）」です。

HSBC世界資産選抜

育てるコース（資産形成型）／収穫コース（予想分配金提示型）／充実生活コース（定率払出型）

愛称 人生100年時代

追加型投信／内外／資産複合

投資信託説明書（交付目論見書）

使用開始日　2026年10月16日

・本書（本投資信託説明書（交付目論見書））は、金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書です。
・以下の委託会社の＜照会先＞にて販売会社（当ファンドの購入の申込取扱場所、本書の提供場所）などの詳細情報をご確認いただけます。
※投資信託説明書（請求目論見書）は、＜照会先＞ホームページにて閲覧・入手（ダウンロード）が可能です。
※本書には当ファンドの約款の主な内容が含まれていますが、約款の全文は投資信託説明書（請求目論見書）に掲載されています。

- 本書により行う「ＨＳＢＣ世界資産選抜 育てるコース（資産形成型）」、「ＨＳＢＣ世界資産選抜 収穫コース（予想分配金提示型）」、「ＨＳＢＣ世界資産選抜 充実生活コース（定率払出型）」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2026年10月15日に関東財務局長に提出しており、その届出の効力は2026年10月16日に生じています。
（上記各ファンドは、以下「当ファンド」という場合があります。）
- 投資信託説明書（請求目論見書）は、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。販売会社に投資信託説明書（請求目論見書）を請求された場合には、その旨をご自身で記録していただきますようお願い申し上げます。
- 当ファンドの約款の内容の重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき、当ファンドを購入された投資者（受益者）に対して事前に書面にて変更内容をお知らせし、ご意向を確認させていただきます。
- 投資信託（ファンド）の信託財産は、信託法に基づき、受託会社の固有財産等との分別管理が義務付けられています。
- 本書は、当ファンドを購入される投資者に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項を記載しています。ご購入の際には、本書の内容を十分にお読みいただきますようお願い申し上げます。

商品分類および属性区分表

ファンド	商品分類			属性区分				
	単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産（収益の源泉）	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
育てるコース（資産形成型）	追加型	内外	資産複合	その他資産（（注））	年2回	グローバル（日本を含む）	ファンド・オブ・ファンズ	あり（部分ヘッジ）
収穫コース（予想分配金提示型）					年6回			
充実生活コース（定率払出型）								

（注）投資信託証券（資産複合（株式、債券、その他資産）資産配分変更型）
属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。
商品分類および属性区分の定義は、当ファンドに該当するものについてのみを記載しています。詳細につきましては、一般社団法人資産運用業協会のホームページ（https://www.imaj.or.jp/）をご覧ください。

委託会社（ファンドの運用の指図を行う者です。）

ＨＳＢＣアセットマネジメント株式会社：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第308号

設立年月日：1985年5月27日
資本金（本書作成時現在）：495百万円
運用する投資信託財産の合計純資産総額（2026年7月末現在）：719,818百万円
＜照会先＞ 電話番号：03-3548-5690（受付時間：委託会社の営業日の午前9時～午後5時）
ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp

受託会社（ファンドの信託財産の保管および管理を行う者です。）

農中信託銀行株式会社

HSBC Asset Management

1 ファンドの目的・特色

ファンドの目的

育てるコース（資産形成型）

信託財産の中長期的な成長をめざします。

収穫コース（予想分配金提示型）

インカムゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長をめざします。

充実生活コース（定率払出型）

信託財産の安定的な成長をめざします。

ファンドの特色

1. 幅広く世界のさまざまな資産（株式、債券等）に分散投資を行います。

- 投資信託証券への投資を通じて、主として「先進国株式」、「新興国株式」、「先進国債券」、「新興国債券」およびその他資産を投資対象資産とします。
- 投資対象資産に指定した投資対象ファンド（投資信託証券）の中から選定します。

  投資対象ファンドの詳細については、後掲の＜追加的記載事項＞投資対象ファンドの概要をご覧ください。

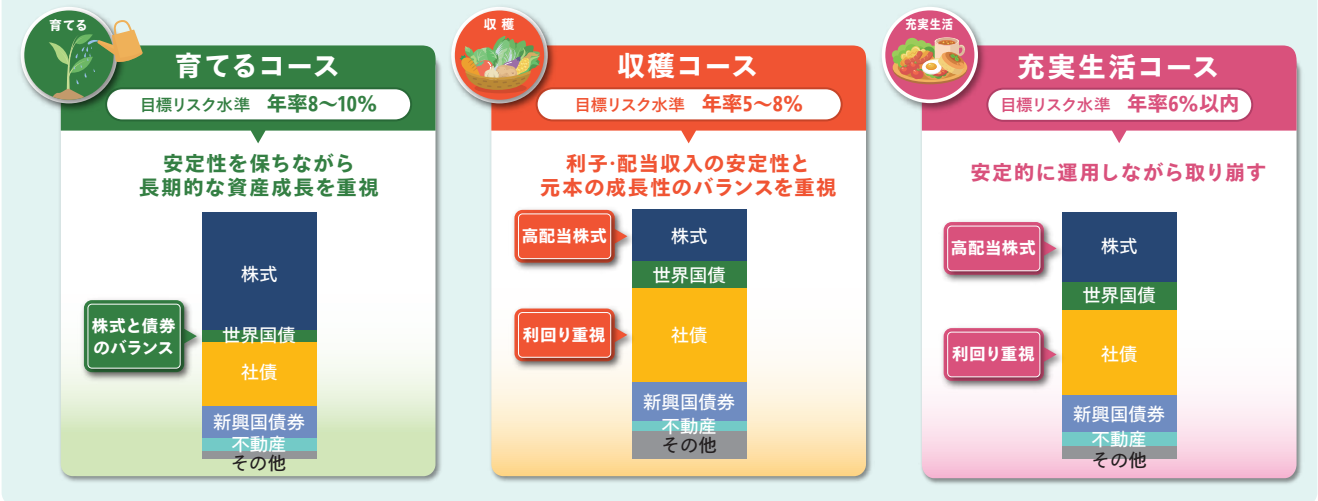
世界中に幅広く分散投資

当社による分類です。これら資産のすべてに投資をするとは限りません。投資対象資産は変更されることがあります。

2. 投資比率は適宜見直します。

- 運用にあたっては、投資対象資産のリスクや利回りおよび市場環境を分析し、効率的に収益を獲得することをめざして、それぞれのポートフォリオを構築します。

各ファンド（コース）の目標リスク水準と資産クラス別投資比率



上記はイメージ図であり、実際のファンドの比率とは異なります。また、当ファンドの将来の運用成果をお約束するものではありません。

3. ＨＳＢＣグローバル・アセット・マネジメント（UK）リミテッドが運用を行います。

▶ 運用委託契約に基づいて、ＨＳＢＣグローバル・アセット・マネジメント（UK）リミテッドに、当ファンドの資産配分および外国為替予約取引の運用の指図に関する権限を委託します。

運用の指図に関する権限の委託を中止または委託の内容を変更する場合があります。

▶ 投資プロセス

しっかり計画	こまめに見直し	きちんと管理
経済見通しに基づいた長期的な資産配分	短期的な市場環境の変化に応じて、資産配分を見直し	運用管理
年1回以上見直し	週1回以上見直し	日々の管理

▶ ＨＳＢＣアセットマネジメントに加え、ＨＳＢＣグループ内の情報ソースを活用します。

4. 為替ヘッジを活用して為替変動の影響を軽減します。

育てるコース

原則として為替の影響を回避

収穫コース

部分的に為替の影響を回避

充実生活コース

部分的に為替の影響を回避

当ファンドは世界の様々な資産に分散投資を行っており、一部為替ヘッジを行わない部分があります。

5. 収穫コース（予想分配金提示型）

収穫コース（予想分配金提示型）においては、想定されるポートフォリオの利回り等をもとに設定した目標分配額を委託会社のホームページでご確認いただけます。
目標分配額は定期的に見直します。

分配金額は分配方針に基づき、委託会社が決定します。したがって、実際の分配金額は目標分配額と異なる可能性があります。各期の目標分配額は、あくまでも委託会社の予想に基づく目安を示すものであり、ファンドの一定利回りを示唆・保証するものではありません。

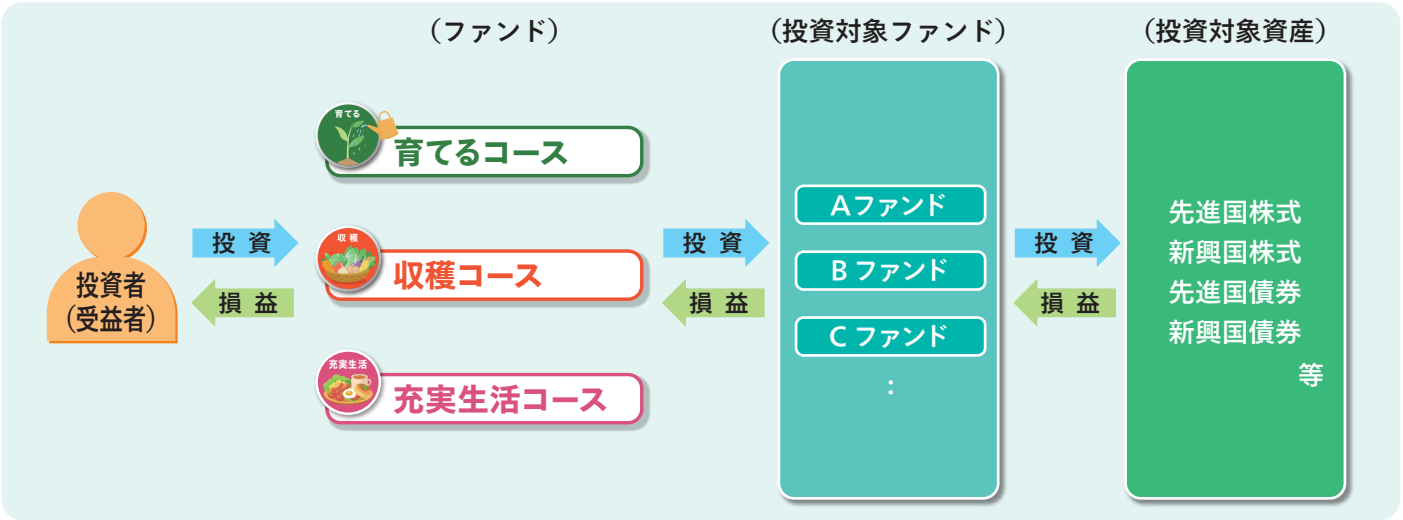
充実生活コース（定率払出型）

年7%の目標分配率に応じた分配（資金払出し）を行うことを目指します。

- 目標分配率とは、基準価額に対する分配の目安を示すものです。一定の収益を得ることができる運用を意味するものではなく、またその達成を示唆あるいは保証するものではありません。
- 分配金の一部または全部が投資元本の取崩しとなる場合があります。
  なお、投資元本の取崩しが継続した場合、時間の経過とともに基準価額が低下し、分配金も低減していくことが想定されます。

ファンドの仕組み

当ファンドはファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。
ファンド・オブ・ファンズとは、複数の投資信託（ファンズ）に投資する投資信託（ファンド）のことをいいます。
ファンドが組入対象とする投資対象ファンド（投資信託証券）は、追加・変更される場合があります。



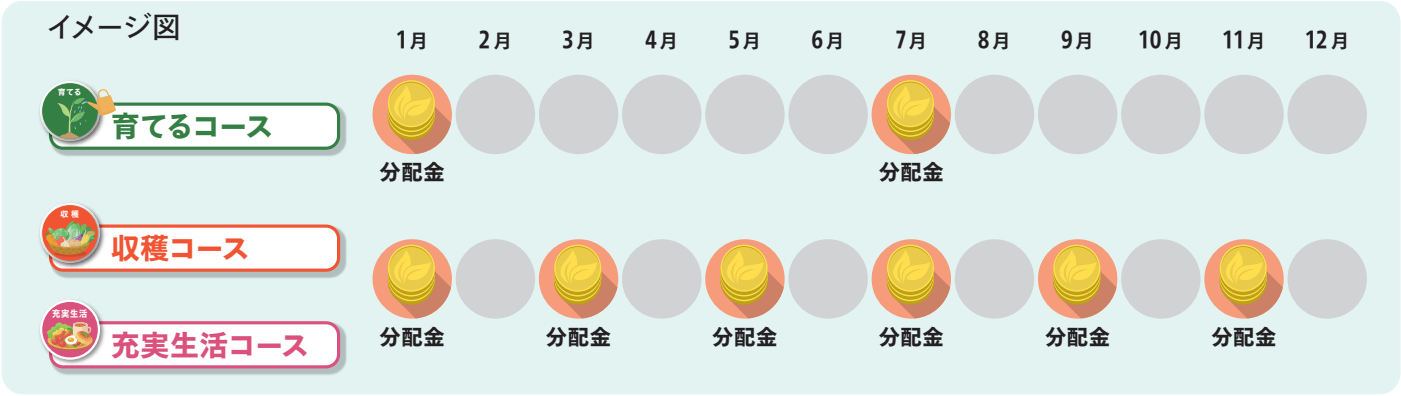
投資対象ファンドの概要につきましては、後掲「追加的記載事項」をご参照ください。
（注）損益はすべて投資者である受益者に帰属します。

主な投資制限

投資信託証券への投資	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
外貨建資産への投資	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
デリバティブ取引	デリバティブの直接利用は行いません。

分配方針

原則として、育てるコース(資産形成型)では年2回(毎年1月、7月の各15日。休業日の場合は翌営業日。)、収穫コース(予想分配金提示型)、充実生活コース(定率払出型)では年6回(毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の各15日。休業日の場合は翌営業日。)の決算時に、分配を行います。



(注)上記は、将来の分配金の金額について示唆・保証するものではなく、分配を行わない場合もあります。
充実生活コース(定率払出型)については、基準価額(1万口当たり。支払済み分配金を含みません。)が2,000円を下回った場合には、当該日以降到来する決算期の分配を停止し、当該日の翌営業日から起算して3ヶ月以内に繰上償還します。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額の水準・市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。
- 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

(注)将来の分配金について保証するものではなく、分配を行わない場合もあります。

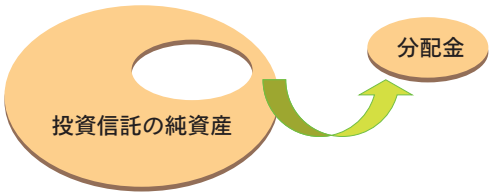
分配金の受取方法により、分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。取扱いコースの有無および各コースの名称は販売会社により異なります。
「一般コース」の分配金は、税引後、原則として決算日から起算して5営業日までに販売会社で支払いを開始します。「自動けいぞく投資コース」の分配金は、税引後、決算日の基準価額で、無手数料で再投資されます。

市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

〈追加的記載事項〉収益分配金に関する留意事項

▶ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

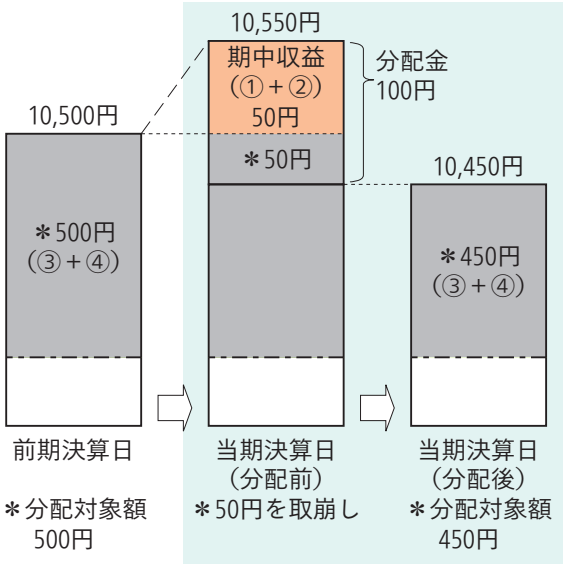
投資信託で分配金が支払われるイメージ



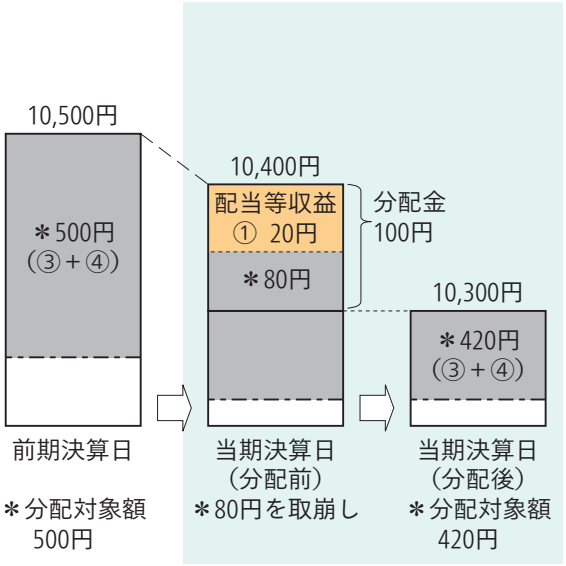
▶ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

（計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合）

（前期決算日から基準価額が上昇した場合）



（前期決算日から基準価額が下落した場合）

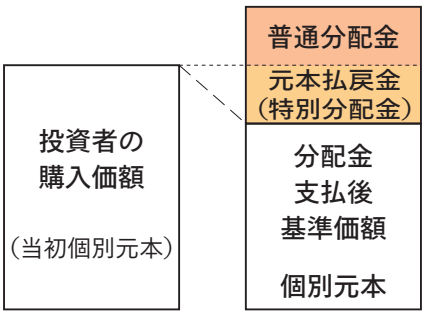


（注）分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

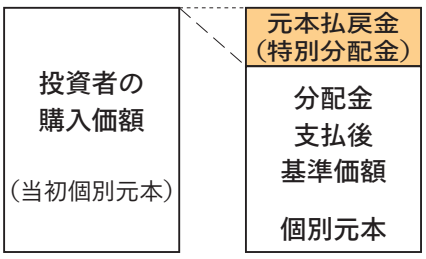
▶ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

（分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合）



※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は、非課税扱いとなります。

（分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合）



普通分配金：当初個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金：当初個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少（特別分配金）します。

（注）普通分配金に対する課税については、後掲「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

〈追加的記載事項〉投資対象ファンドの概要

投資対象としている投資信託証券の概要は以下の通りです。
- すべての投資対象資産および投資対象ファンドに投資するとは限りません。
- 投資対象ファンドは見直しを行うことがあります。

以下の内容は、本書作成時現在、委託会社が知りうる情報に基づいて作成しておりますが、今後記載内容が変更になることがあります。

投資対象資産		特徴	投資対象ファンド
株式	世界株式	全体	HSBC FTSE オール・ワールド・インデックス・ファンド(注)
			HSBC PLUS ワールド・エクイティ・クオンツ・アクティブ UCITS ETF(注)
		配当株	HSBC GIF グローバル・エクイティ・クオリティ・インカム
			HSBC PLUS ワールド・エクイティ・インカム・クオンツ・アクティブ UCITS ETF(注)
		ファクター	HSBC マルチファクター世界株 UCITS ETF
			iシェアーズ Edge MSCI ワールド・クオリティ・ファクター UCITS ETF
			iシェアーズ Edge MSCI ワールド・バリュー・ファクター UCITS ETF
		インフラ関連	HSBC GIF グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ
		小型	SPDR MSCI ワールド・スモールキャップ UCITS ETF
		テクノロジー	State Street テクノロジー・セレクト・セクター SPDR ETF(注)
		資本財	State Street 資本財セレクト・セクター SPDR ETF(注)
		コミュニケーション	State Street コミュニケーション・サービス・セレクト・セクター SPDR ETF(注)
		金融	State Street 金融セレクト・セクター SPDR ETF(注)
		生活必需品	State Street 生活必需品セレクト・セクター SPDR ETF(注)
		素材	State Street 素材セレクト・セクター SPDR ETF(注)
		一般消費財	State Street 一般消費財セレクト・セクター SPDR ETF(注)
		公益事業	State Street 公益事業セレクト・セクター SPDR ETF(注)
	米国株式	全体	HSBC アメリカン・インデックス・ファンド
			HSBC S&P 500 イコール・ウエイト・エクイティ・インデックス・ファンド(注)
			iシェアーズ・コア S&P 500 ETF(注)
		小型	iシェアーズ・コア S&P 小型株 ETF(注)
		エネルギー	iシェアーズ S&P 500 エネルギーセクター UCITS ETF
		ヘルスケア	iシェアーズ S&P 500 ヘルスケアセクター UCITS ETF
		ファクター	HSBC マルチ・ファクター US エクイティ・ファンド
			HSBC MSCI USA クオリティ UCITS ETF(注)
	欧州株式	全体	HSBC ヨーロピアン・インデックス・ファンド
		ファクター	HSBC マルチ・ファクター EMU エクイティ・ファンド
	英国株式	全体	HSBC FTSE 100 インデックス・ファンド
		ファクター	HSBC UK マルチ・ファクター・エクイティ・ファンド(注)
	日本株式	大型・中型	HSBC 日本・インデックス・ファンド
	アジア太平洋株式	全体	HSBC MSCI パシフィック(除く日本)UCITS ETF
	新興国株式	全体	HSBC MSCI エマージング・マーケッツ UCITS ETF
			HSBC PLUS エマージング・マーケッツ・エクイティ・クオンツ・アクティブ UCITS ETF(注)
		配当株	HSBC PLUS エマージング・マーケッツ・エクイティ・インカム・クオンツ・アクティブ UCITS ETF(注)
		中国A株	HSBC MSCI チャイナ A UCITS ETF
		韓国株	HSBC MSCI 韓国キャップト UCITS ETF
		インド株	HSBC GIF インディアン・エクイティ
債券	世界国債	国債	HSBC グローバル・ガバメント・ボンド UCITS ETF
		物価連動債	Amundi グローバル物価連動国債 1-10年
	米国国債	国債	HSBC US トレジャリー・ボンド UCITS ETF
		物価連動債	Amundi 米国物価連動国債
		長期	Amundi US トレジャリー・ボンド・ロング・デイテッド(注)
	欧州国債	国債	HSBC ユーロ建て ガバメント・ボンド UCITS ETF
		長期	iシェアーズ ユーロ建て ガバメント・ボンド・デュレーション・ターゲット20年 UCITS ETF(注)
	英国国債	国債	HSBC UK ギルト・インデックス・ファンド(注)
	日本国債	国債	HSBC 日本国債 UCITS ETF
	世界社債	投資適格債	HSBC グローバル・コーポレート・ボンド UCITS ETF
	米国社債	投資適格債	HSBC US コーポレート・ボンド UCITS ETF
	欧州社債	投資適格債	HSBC ユーロ・コーポレート・ボンド UCITS ETF
	高利回り債券	米ドル建て	HSBC GIF グローバル・ハイ・イールド・ボンド
			HSBC GIF アジア・ハイ・イールド・ボンド
	新興国債券	現地通貨建て	HSBC GIF 現地通貨建・グローバル・エマージング・マーケッツ
			HSBC チャイナ・ガバメント・ローカル・ボンド UCITS ETF
			L&G インド インドルピー建て ガバメント・ボンド UCITS ETF
		米ドル建て	HSBC グローバル・エマージング・マーケット・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド
	ABS (資産担保証券)	投資適格	HSBC GIF グローバル・インベストメント・グレード・セキュリタイズド・クレジット・ボンド
		クロスオーバー	HSBC GIF グローバル・フレキシブル・セキュリタイズド・クレジット・ボンド
その他	不動産	不動産関連	HSBC GIF グローバル・リアルエステート・エクイティ
		先進国 REIT	HSBC FTSE EPRA NAREIT・ディベロップト UCITS ETF
	代替資産	商品	iシェアーズ フィジカルゴールド ETC

(注)育てるコースおよび収穫コースのみ投資対象となります。
- 投資対象ファンド名に「HSBC」を含むファンドの運用は、HSBCアセットマネジメント内の運用会社が行います。
- 投資対象ファンド名の「GIF」とは、「グローバル・インベストメント・ファンズ」の略です。
- 「iシェアーズ」は、ブラックロック・グループが運用するETFブランドです。「SPDR」および「State Street」は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズが運用するETFブランドです。「Amundi」は、アムンディ・グループが運用するETFブランドです。「L&G」は、リーガル・アンド・ジェネラル・グループが運用するETFブランドです。

※投資対象ファンドに該当しなくなった投資信託証券は、該当しなくなった日から1ヶ月以内を目処に売却します。

2 投資リスク

投資信託は元本保証のない金融商品です。また、投資信託は預貯金とは異なることにご注意ください。当ファンドは、主に値動きのある外国の有価証券を実質的な投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。

基準価額の変動要因

〈主な変動要因〉

株価変動リスク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。
金利変動リスク	債券価格は、市場金利の変動等の影響を受けます。一般的に、金利が上昇すると債券価格は下落します。なお、その価格変動は、債券の種類、償還までの残存期間、発行条件等により異なります。
その他資産のリスク	不動産に関連する資産に投資する場合、市場金利の変動、景気動向等の影響を受けるリスクがあります。不動産以外のその他資産に投資する場合、当該資産の属性に応じたリスクがあります。
信用リスク	株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。
為替変動リスク	為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。円金利がヘッジ対象通貨の金利より低い場合には、これらの金利差相当分のヘッジコストが発生します。為替ヘッジを行っていない部分の外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の為替ヘッジを行っていない通貨に対する為替レートの変動の影響を受けます。
流動性リスク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。
カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引等に関する規制や税制の変更、新たな規制が設けられた場合には、基準価額が影響を受けることや投資方針に沿った運用が困難になることがあります。

基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドの購入の申込みに関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（**クーリング・オフ**）の適用はありません。
- 当ファンドは預金保険・貯金保険の対象ではありません。また、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。
  これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。

リスクの管理体制

- 運用リスクの管理は、運用部門、コンプライアンス部門、投資ガイドライン・モニタリング・チーム、運用から独立したリスク管理部門による複眼的な管理体制を採っております。リスク管理の状況は、定期的に開催されるリスク管理委員会（運用拠点により呼称が変わることがあります。）において報告・審議され、組織的な対応が行われています。

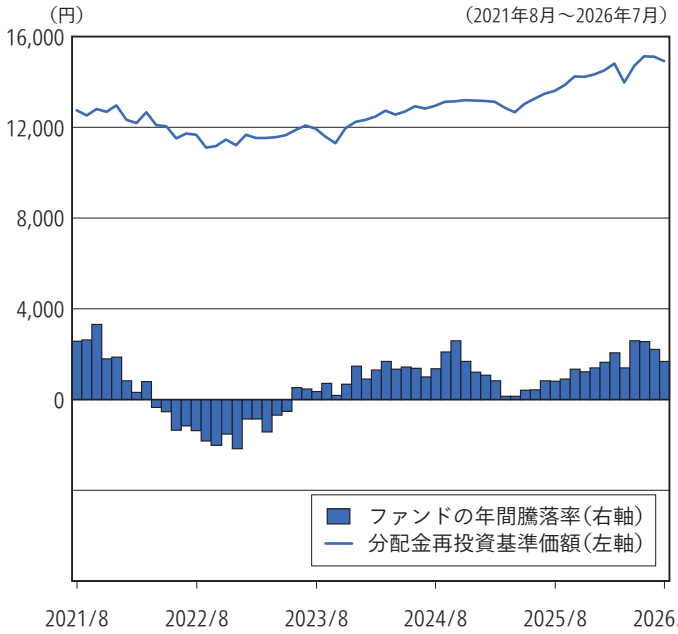
  運用リスクの管理については、ＨＳＢＣアセットマネジメントの代表的な管理方法について記載しております。なお、この体制は本書作成時現在のものであり、今後変更になる可能性があります。

- 流動性リスクの管理については、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。取締役会等において、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

〈参考情報〉

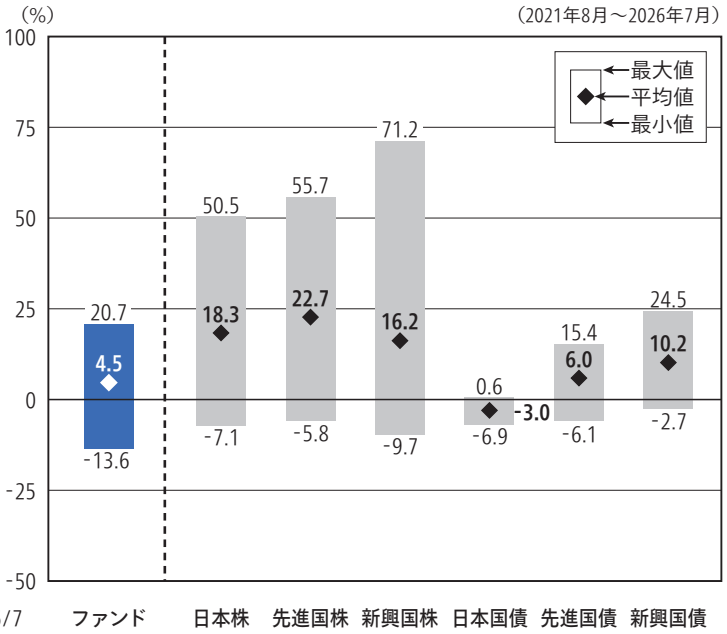
ＨＳＢＣ世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



(注)分配金再投資基準価額は、税引き前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算した基準価額であり、実際の基準価額とは異なる場合があります。
年間騰落率は、各月末の分配金再投資基準価額の値を当該月の1年前の値と比較して計算した騰落率(%)であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
分配金再投資基準価額および年間騰落率はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注)グラフは、ファンドと代表的な資産クラスについて、上記記載の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるよう作成したものです。なお、代表的な資産クラスのすべてがファンドの投資対象になるとは限りません。ファンドについては分配金再投資基準価額の騰落率です。

〈代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について〉

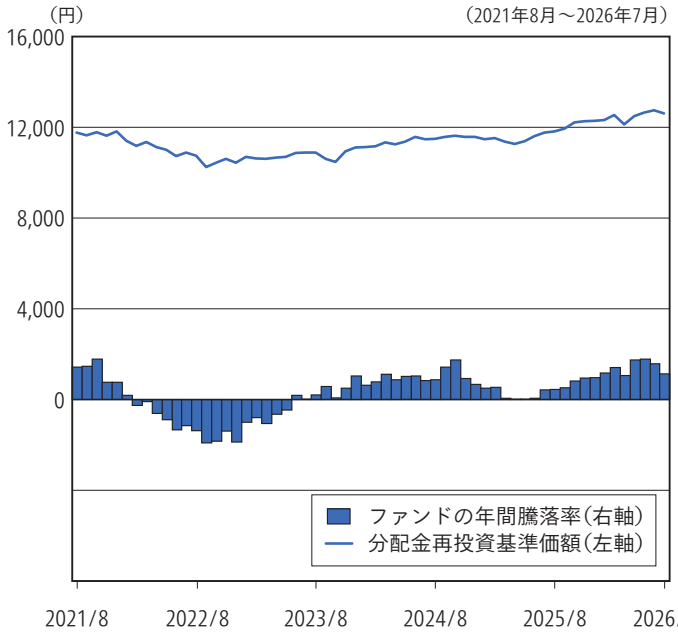
各資産クラスの指数
日 本 株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
先進国株:MSCI-KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)
新興国株:MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
日本国債:NOMURA-BPI国債
先進国債:FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
新興国債:JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)
(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
○MSCI-KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)
MSCI-KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
○MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
○NOMURA-BPI国債
NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
○FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

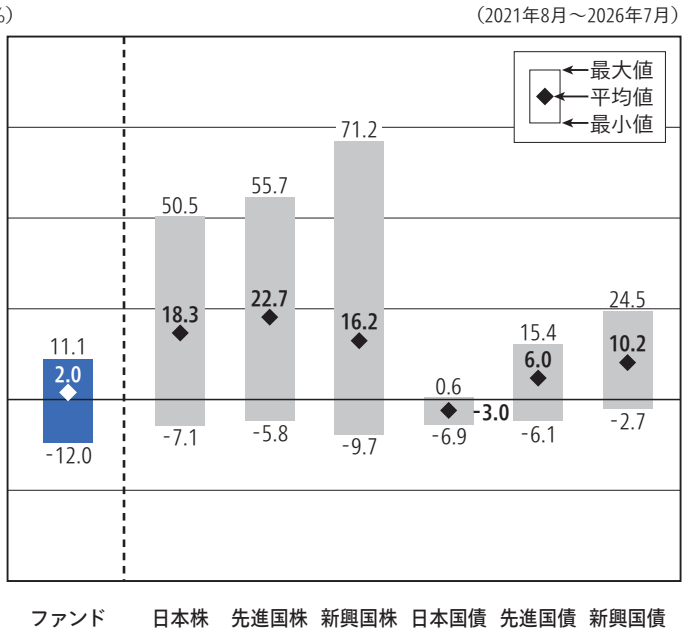
ＨＳＢＣ世界資産選抜 収穫コース（予想分配金提示型）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



（注）分配金再投資基準価額は、税引き前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算した基準価額であり、実際の基準価額とは異なる場合があります。
年間騰落率は、各月末の分配金再投資基準価額の値を当該月の1年前の値と比較して計算した騰落率（%）であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
分配金再投資基準価額および年間騰落率はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（注）グラフは、ファンドと代表的な資産クラスについて、上記記載の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるよう作成したものです。なお、代表的な資産クラスのすべてがファンドの投資対象になるとは限りません。ファンドについては分配金再投資基準価額の騰落率です。

〈代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について〉

各資産クラスの指数
日　本　株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

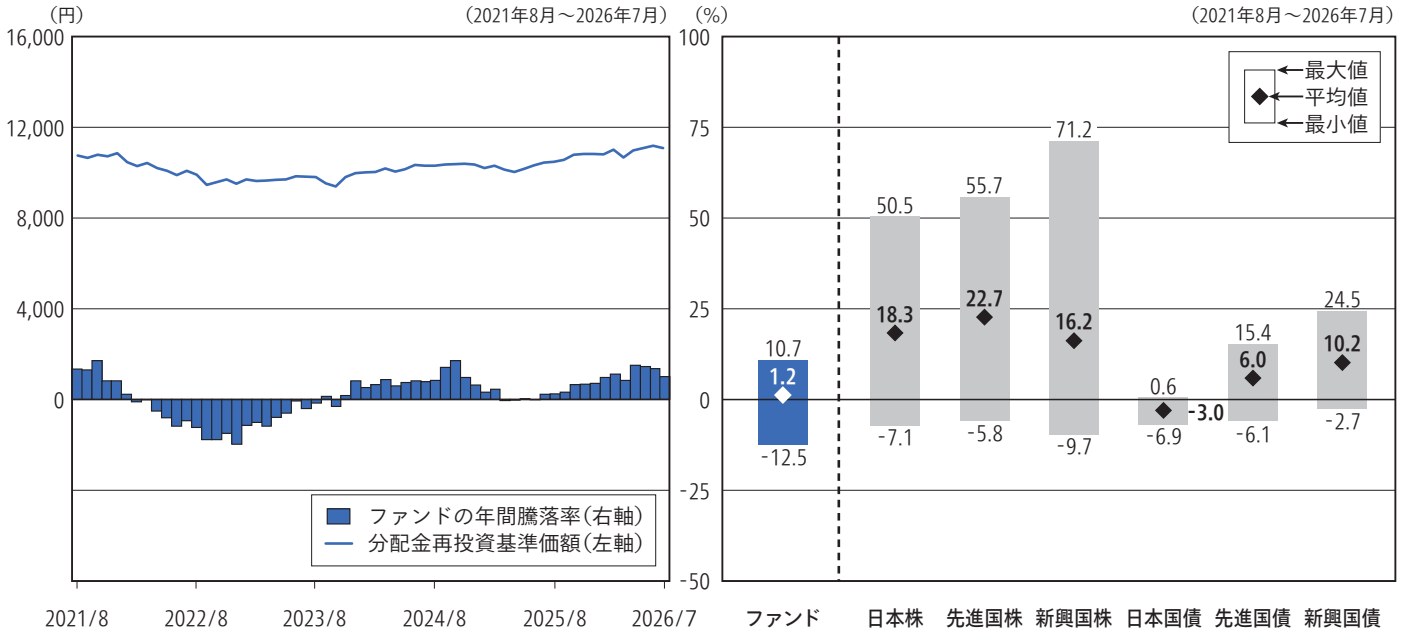
○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
○NOMURA-BPI国債
NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。
○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ＨＳＢＣ世界資産選抜 充実生活コース（定率払出型）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

（注）分配金再投資基準価額は、税引き前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算した基準価額であり、実際の基準価額とは異なる場合があります。
年間騰落率は、各月末の分配金再投資基準価額の値を当該月の1年前の値と比較して計算した騰落率（%）であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
分配金再投資基準価額および年間騰落率はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（注）グラフは、ファンドと代表的な資産クラスについて、上記記載の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるよう作成したものです。なお、代表的な資産クラスのすべてがファンドの投資対象になるとは限りません。ファンドについては分配金再投資基準価額の騰落率です。

〈代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について〉

各資産クラスの指数
日 本 株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI 国債
先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

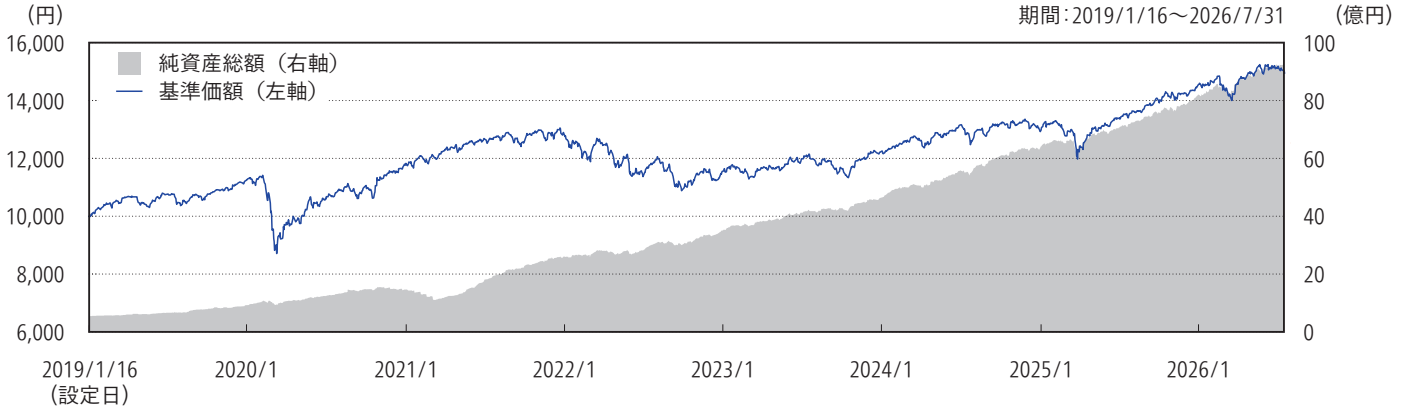
○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 JPX 総研または株式会社 JPX 総研の関連会社に帰属します。
○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。
○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。
○NOMURA-BPI 国債
NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。
○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。
○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

3 運用実績

ＨＳＢＣ世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)
(2026年7月末現在)基準価額：14,942円／純資産総額：91億円

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

① 基準価額・純資産総額の推移



注：基準価額(1万口当たり)は信託報酬控除後のものです。

② 分配の推移

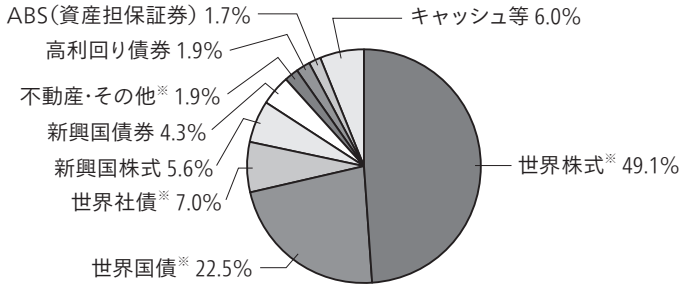
決算期	分配金
第15期(2026年7月)	0円
第14期(2026年1月)	0円
第13期(2025年7月)	0円
第12期(2025年1月)	0円
第11期(2024年7月)	0円
直近1年間累計	0円
設定来累計	0円

注：分配金は1万口当たりの税引前の金額です。

③ 主要な資産の状況

順位	ファンド名	比率
1	HSBC アメリカン・インデックス・ファンド	25.5%
2	HSBC グローバル・ガバメント・ボンド UCITS ETF	13.0%
3	HSBC グローバル・コーポレート・ボンド UCITS ETF	7.0%
4	HSBC MSCI エマージング・マーケッツ UCITS ETF	5.2%
5	HSBC ヨーロピアン・インデックス・ファンド	5.1%
6	Amundi US トレジャリー・ボンド・ロング・デイテッド	5.0%
7	HSBC マルチファクター世界株 UCITS ETF	4.8%
8	HSBC GIF 現地通貨建・グローバル・エマージング・マーケッツ	4.3%
9	HSBC GIF グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ	3.6%
10	HSBC FTSE 100 インデックス・ファンド	3.4%
組入ファンド数		21

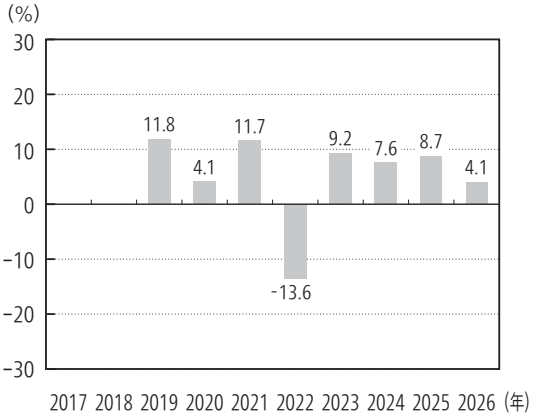
資産配分比率



- 比率は育てるコース内の保有比率(キャッシュ等を含む)を表示しています。
- 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※〈追加的記載事項〉投資対象ファンドの概要に記載の投資対象資産を示しています。ただし、世界株式は世界、米国、欧州、英国、日本、アジア太平洋等の株式、世界国債は世界、米国、欧州等の国債、世界社債は世界、欧州等の社債、不動産・その他は不動産、代替資産の各合計です。

④ 年間収益率の推移



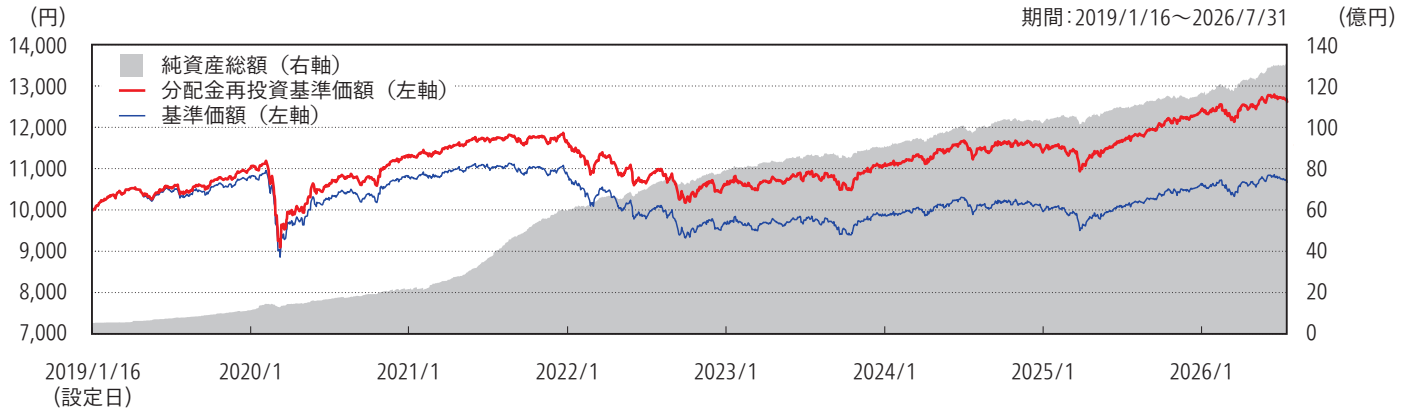
・当ファンドはベンチマークを設けていません。
・ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資して算出しています。
・2019年は、設定日(1月16日)から年末までの騰落率です。
・2026年は、年初から7月末までの騰落率です。

ファンドの運用状況は別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。

ＨＳＢＣ世界資産選抜 収穫コース（予想分配金提示型）
（2026年7月末現在）基準価額：10,664円／純資産総額：130億円

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

① 基準価額・純資産総額の推移



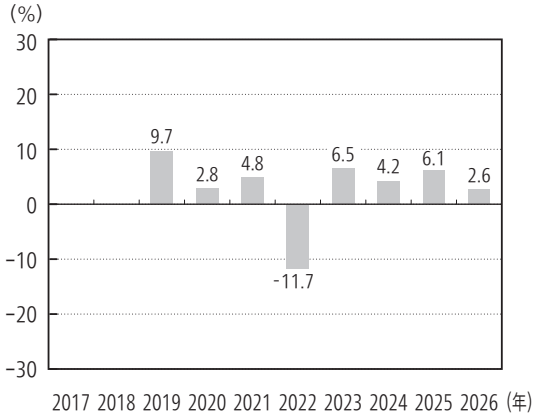
注：基準価額（1万口当たり）は信託報酬控除後のものです。分配金再投資基準価額（1万口当たり）は税引前分配金を再投資したものです。

② 分配の推移

決算期	分配金
第45期（2026年 7 月）	35円
第44期（2026年 5 月）	35円
第43期（2026年 3 月）	35円
第42期（2026年 1 月）	35円
第41期（2025年11月）	35円
直近1年間累計	210円
設定来累計	1,720円

注：分配金は1万口当たりの税引前の金額です。

④ 年間収益率の推移

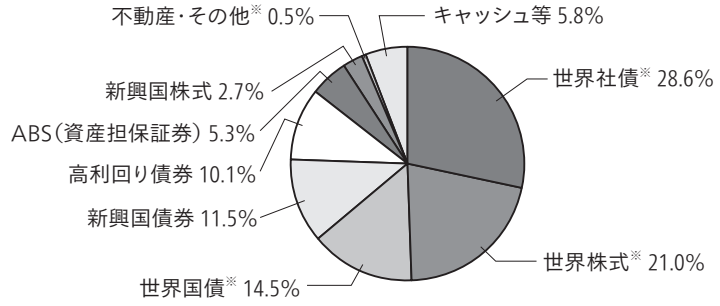


・当ファンドはベンチマークを設けていません。
・ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資して算出しています。
・2019年は、設定日（1月16日）から年末までの騰落率です。
・2026年は、年初から7月末までの騰落率です。

③ 主要な資産の状況

順位	ファンド名	比率
1	HSBC グローバル・コーポレート・ボンド UCITS ETF	28.6%
2	HSBC GIF グローバル・エクイティ・クオリティ・インカム	19.3%
3	HSBC GIF グローバル・ハイ・イールド・ボンド	10.1%
4	HSBC グローバル・ガバメント・ボンド UCITS ETF	8.6%
5	HSBC GIF 現地通貨建・グローバル・エマージング・マーケッツ	7.5%
6	HSBC GIF グローバル・インベストメント・グレード・セキュリタイズド・クレジット・ボンド	5.3%
7	HSBC グローバル・エマージング・マーケット・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	4.1%
8	Amundi US トレジャリー・ボンド・ロング・デイテッド	3.7%
9	HSBC PLUS エマージング・マーケッツ・エクイティ・インカム・クオンツ・アクティブ UCITS ETF	2.7%
10	iシェアーズ ユーロ建て ガバメント・ボンド・デュレーション・ターゲット20年 UCITS ETF	2.2%
組入ファンド数		12

資産配分比率



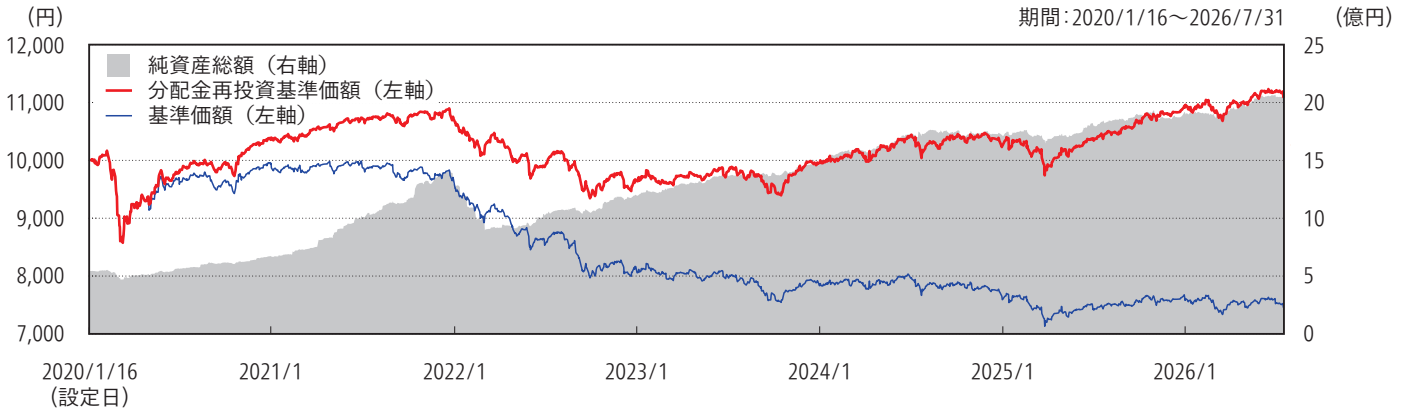
・比率は収獲コース内の保有比率（キャッシュ等を含む）を表示しています。
・表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
※〈追加的記載事項〉投資対象ファンドの概要に記載の投資対象資産を示しています。ただし、世界株式は世界、米国、欧州、英国、日本、アジア太平洋等の株式、世界国債は世界、米国、欧州等の国債、世界社債は世界、欧州等の社債、不動産・その他は不動産、代替資産の各合計です。

ファンドの運用状況は別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。

ＨＳＢＣ世界資産選抜 充実生活コース（定率払出型）
（2026年7月末現在）基準価額：7,463円／純資産総額：20億円

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

① 基準価額・純資産総額の推移



注：基準価額（1万口当たり）は信託報酬控除後のものです。分配金再投資基準価額（1万口当たり）は税引前分配金を再投資したものです。

② 分配の推移

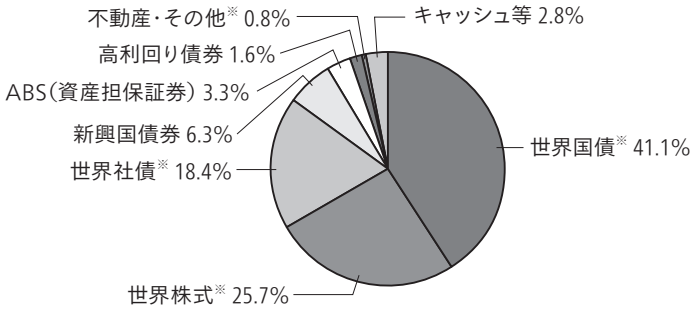
決算期	分配金
第39期（2026年７月）	80円
第38期（2026年５月）	80円
第37期（2026年３月）	80円
第36期（2026年１月）	80円
第35期（2025年11月）	80円
直近1年間累計	480円
設定来累計	3,340円

注：分配金は1万口当たりの税引前の金額です。

③ 主要な資産の状況

順位	ファンド名	比率
1	HSBC グローバル・ガバメント・ボンド UCITS ETF	41.1%
2	HSBC GIF グローバル・エクイティ・クオリティ・インカム	24.0%
3	HSBC グローバル・コーポレート・ボンド UCITS ETF	18.4%
4	HSBC GIF 現地通貨建・グローバル・エマージング・マーケッツ	4.1%
5	HSBC GIF グローバル・インベストメント・グレード・セキュリタイズド・クレジット・ボンド	3.3%
6	HSBC グローバル・エマージング・マーケット・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	2.2%
7	HSBC GIF グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ	1.7%
8	HSBC GIF グローバル・ハイ・イールド・ボンド	1.6%
9	HSBC GIF グローバル・リアルエステート・エクイティ	0.8%
組入ファンド数		9

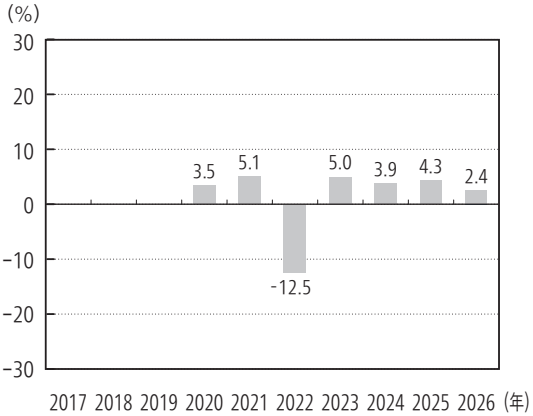
資産配分比率



- 比率は充実生活コース内の保有比率（キャッシュ等を含む）を表示しています。
- 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※〈追加的記載事項〉投資対象ファンドの概要に記載の投資対象資産を示しています。ただし、世界株式は世界、米国、欧州、英国、日本、アジア太平洋等の株式、世界国債は世界、米国、欧州等の国債、世界社債は世界、欧州等の社債、不動産・その他は不動産、代替資産の各合計です。

④ 年間収益率の推移



・当ファンドはベンチマークを設けていません。
・ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資して算出しています。
・2020年は、設定日（1月16日）から年末までの騰落率です。
・2026年は、年初から7月末までの騰落率です。

ファンドの運用状況は別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。

4 手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	購入代金は、販売会社が個別に定める期日までに、販売会社に支払うものとします。 購入代金とは、購入金額（購入価額×購入口数）に購入時手数料（税込）を加えた金額です。
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目以降に販売会社でお支払いします。
申込締切時間	原則として午後3時30分までに販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社により異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。
購入の申込期間	2026年10月16日から2027年4月15日まで （当該期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。）
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
申込受付不可日	日本国内の営業日であっても次のいずれかに該当する場合には、購入および換金の申込受付は行いません。 • ロンドン、ニューヨーク、ルクセンブルグの証券取引所または銀行の休業日 • ルクセンブルグのイースター・マンデーの前週の月曜日 • クリスマス（12月25日）から4営業日※前となる日 ※ロンドンの証券取引所または銀行の営業日を指します。
購入・換金の申込受付の中止および取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金の申込受付の中止および取消しを行う場合があります。
信託期間	育てるコース　収穫コース 無期限（信託設定日：2019年1月16日） 充実生活コース 無期限（信託設定日：2020年1月16日）
繰上償還	各ファンドの残存口数が30億口を下回った場合等には、各ファンドの信託を終了させる場合があります。 充実生活コース 1万口当たりの基準価額（支払済み分配金を含まない）が2,000円を下回った場合には、当該日以降到来する決算期の分配を停止し、当該日の翌営業日から起算して3ヶ月以内に繰上償還します。

決算日	**育てるコース** 毎年1月、7月の各15日(休業日の場合は翌営業日) **収穫コース** **充実生活コース** 毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の各15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	**育てるコース** 年2回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。 **収穫コース** **充実生活コース** 年6回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。 ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。分配金の受取方法により、分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。
信託金の限度額	各ファンド　1兆円
公告	原則として電子公告により行い、委託会社のホームページ(www.assetmanagement.hsbc.co.jp)に掲載します。
運用報告書	交付運用報告書は、毎年1月、7月の決算時および償還時に委託会社が作成し、販売会社を通じて受益者に交付します。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。 各コースは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
その他	世界資産選抜(当ファンドを含む4本のファンド)の各コース間でスイッチングが可能です。各コースを換金した受取金額をもって別の各コースの購入の申込みを行うことができます。 販売会社によっては、一部のコースのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。 詳しくは販売会社にご確認ください。 • 基準価額(1万口当たり)は、翌日の日本経済新聞朝刊に「人生百年育て」「人生百年収穫」「人生百年充実」の略称で掲載されます。 • 委託会社の判断により購入申込の受付を中止した場合等において、販売会社が定める定時定額による受付を継続することがあります。

ファンドの費用・税金

〈ファンドの費用〉

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入金額に、**1.65%（税抜1.50%）**を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額を購入時にご負担いただきます。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。 （購入時手数料は、商品内容の説明ならびに購入手続き等にかかる費用の対価として、販売会社に支払われます。）
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用（信託報酬）	**年1.243%（税抜年1.13%）**	各ファンド（コース）とも、ファンドの日々の純資産総額に信託報酬率を乗じて得た額とします。 ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。
（委託会社）	税抜年0.55%	ファンドの運用等の対価 （運用委託先への報酬が含まれます。）
（販売会社）	税抜年0.55%	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	税抜年0.03%	運用財産の管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
投資対象とする投資信託証券	年0.06%程度	投資対象とする投資信託証券の実質投資比率を勘案した運用管理費用
実質的な負担	**年1.303%（税抜年1.19%）**程度	投資対象とする投資信託証券の運用管理費用を加味して、投資者が実質的に負担する運用管理費用について算出したものです。
その他費用・手数料	ファンドの保有期間中、その都度ファンドから支払われます。 ・有価証券売買委託手数料／保管銀行等に支払う外貨建資産の保管費用／信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用等 ・振替制度にかかる費用／印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用／監査法人等に支払う監査報酬等 〔純資産総額に対し上限年0.20%（税込）として日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、**育てるコース**については毎計算期末または信託終了のとき、**収穫コース、充実生活コース**については毎年1月および7月に到来する計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。〕 ・投資先投資信託証券における売買にかかる手数料、租税、カストディーフィー、監査報酬等 その他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率等を記載することができません。	

ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

〈税金〉

税金は表に記載の時期に適用されます。
以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時　期	項　目	税　金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金（解約）時および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- 少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合
  少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。
  ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- 法人の場合は、上記とは異なります。
- 上記は、2026年7月末現在のものです。
- 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

（参考情報）ファンドの総経費率

直近の運用報告書の対象期間（2026年1月16日～2026年7月15日）における各ファンド（コース）の総経費率は以下の通りです。

	総経費率（①＋②）	①運用管理費用の比率	②その他費用の比率
育てるコース	1.38%	1.23%	0.15%
収穫コース	1.43%	1.23%	0.20%
充実生活コース	1.56%	1.23%	0.33%

※対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。消費税等のかかるものは消費税等を含みます。）を、対象期間の平均受益権口数に平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した値（年率）です。
※投資対象とする投資信託証券（以下、投資先ファンドといいます。）にかかる費用は、その他費用（②）に含めています。
※投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
※これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
※詳細につきましては、対象期間の運用報告書（全体版）をご覧ください。

≪ＨＳＢＣグループおよびＨＳＢＣアセットマネジメント≫

- ＨＳＢＣグループの持株会社であるＨＳＢＣホールディングスplcは、英国・ロンドンに本部を置いています。ＨＳＢＣグループは、世界の56の国と地域でお客さまにサービスを提供し、その歴史は1865年の創業に遡る世界有数の金融グループです。
- 委託会社が属するＨＳＢＣアセットマネジメントは、個人・事業法人・機関投資家に投資ソリューションを提供する、ＨＳＢＣグループにおける資産運用部門の総称です。ＨＳＢＣアセットマネジメントは20の国と地域に拠点を持ち、それぞれのマーケットを深く理解している国際的なネットワークを活かして、お客さまにグローバルな投資機会を提供しています。

上記は2025年12月末現在知りうる情報であり、今後変更になることがあります。

（ＨＳＢＣアセットマネジメント株式会社は社内規程に基づき、クラスター爆弾または対人地雷の使用、開発、製造、備蓄、輸送または貿易に直接関与する企業への投資は行いません。）

〈追加的記載事項〉

ファンドの名称については、正式名称ではなく略称等で記載する場合があります。

正式名称	略称
ＨＳＢＣ世界資産選抜　育てるコース（資産形成型）	育てるコース（資産形成型）
	育てるコース
ＨＳＢＣ世界資産選抜　収穫コース（予想分配金提示型）	収穫コース（予想分配金提示型）
	収穫コース
ＨＳＢＣ世界資産選抜　充実生活コース（定率払出型）	充実生活コース（定率払出型）
	充実生活コース

なお、本書において、上記の３本のファンドを含む以下の４本のファンドを総称して「世界資産選抜」、その愛称として「人生100年時代」という場合があります。

①ＨＳＢＣ世界資産選抜育てるコース（資産形成型）
②ＨＳＢＣ世界資産選抜収穫コース（予想分配金提示型）
③ＨＳＢＣ世界資産選抜充実生活コース（定率払出型）
④ＨＳＢＣ世界資産選抜種まきコース（安定運用型）

HSBC世界資産選抜
種まきコース（安定運用型）
愛称 人生100年時代

追加型投信／内外／債券

投資信託説明書（交付目論見書）

使用開始日　2026年10月16日

・本書（本投資信託説明書（交付目論見書））は、金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書です。
・以下の委託会社の＜照会先＞にて販売会社（当ファンドの購入の申込取扱場所、本書の提供場所）などの詳細情報をご確認いただけます。
※投資信託説明書（請求目論見書）は、＜照会先＞ホームページにて閲覧・入手（ダウンロード）が可能です。
※本書には当ファンドの約款の主な内容が含まれていますが、約款の全文は投資信託説明書（請求目論見書）に掲載されています。

- 本書により行う「ＨＳＢＣ世界資産選抜 種まきコース（安定運用型）」（以下「当ファンド」という場合があります。）の募集については、委託会社は、金融商品取引法第５条の規定により有価証券届出書を2026年10月15日に関東財務局長に提出しており、その届出の効力は2026年10月16日に生じています。
- 投資信託説明書（請求目論見書）は、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。販売会社に投資信託説明書（請求目論見書）を請求された場合には、その旨をご自身で記録していただきますようお願い申し上げます。
- 当ファンドの約款の内容の重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき、当ファンドを購入された投資者（受益者）に対して事前に書面にて変更内容をお知らせし、ご意向を確認させていただきます。
- 投資信託（ファンド）の信託財産は、信託法に基づき、受託会社の固有財産等との分別管理が義務付けられています。
- 本書は、当ファンドを購入される投資者に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項を記載しています。ご購入の際には、本書の内容を十分にお読みいただきますようお願い申し上げます。

商品分類および属性区分表

商品分類			属性区分				
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産（収益の源泉）	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
追加型	内外	債券	その他資産（投資信託証券（債券））	年２回	グローバル（日本を含む）	ファンド・オブ・ファンズ	あり（部分ヘッジ）

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。
商品分類および属性区分の定義は、当ファンドに該当するものについてのみを記載しています。詳細につきましては、一般社団法人資産運用業協会のホームページ（https://www.imaj.or.jp/）をご覧ください。

委託会社（ファンドの運用の指図を行う者です。）

ＨＳＢＣアセットマネジメント株式会社：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第308号

設立年月日：1985年5月27日
資本金（本書作成時現在）：495百万円
運用する投資信託財産の合計純資産総額（2026年7月末現在）：719,818百万円
＜照会先＞ 電話番号：03-3548-5690（受付時間：委託会社の営業日の午前9時～午後5時）
ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp

受託会社（ファンドの信託財産の保管および管理を行う者です。）

農中信託銀行株式会社

HSBC Asset Management

1 ファンドの目的・特色

ファンドの目的

種まきコース（安定運用型）

インカムゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長をめざします。

ファンドの特色

1. 世界のさまざまな種類の債券に分散投資を行います。

▶ 投資信託証券への投資を通じて、主として「先進国債券」および「新興国債券」を投資対象資産とします。

▶ 投資対象資産に指定した投資対象ファンド（投資信託証券）の中から選定します。

投資対象ファンドの詳細については、後掲の〈追加的記載事項〉投資対象ファンドの概要をご覧ください。
ただし、〈追加的記載事項〉投資対象ファンドの概要に記載の投資信託証券に加えて、市場環境や収益性を勘案して上場投資信託証券に投資する場合があります。

上記はイメージ図であり、実際のファンドの比率とは異なります。また、当ファンドの将来の運用成果をお約束するものではありません。

2. HSBCグローバル・アセット・マネジメント（UK）リミテッドが運用を行います。

▶ 運用委託契約に基づいて、HSBCグローバル・アセット・マネジメント（UK）リミテッドに当ファンドの投資配分および外国為替予約取引の運用の指図に関する権限を委託します。

＊HSBCグローバル・アセット・マネジメント（UK）リミテッドはHSBCグローバル・アセット・マネジメント（米国）インクから投資助言を受けます。

運用の指図に関する権限の委託を中止または委託の内容を変更する場合があります。

▶ 投資プロセス

しっかり計画	こまめに見直し	きちんと管理
経済見通しに基づいた長期的な資産配分	短期的な市場環境の変化に応じて、資産配分を見直し	運用管理
年1回以上見直し	週1回以上見直し	日々の管理

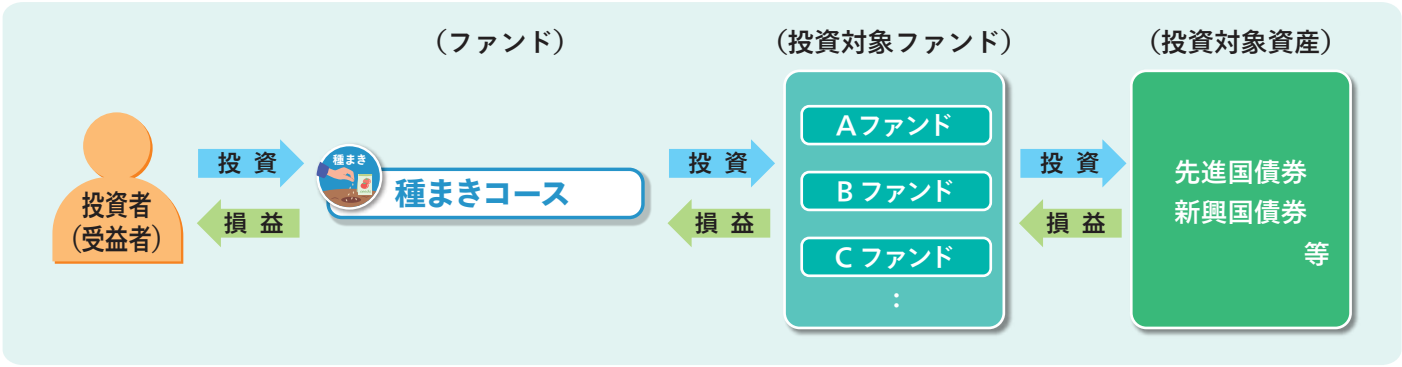
▶ HSBCアセットマネジメントに加え、HSBCグループ内の情報ソースを活用します。

3. 原則として為替ヘッジを行い、為替変動の影響を軽減します。

▶ ただし、世界各国に分散投資を行うため、対円で為替ヘッジできない部分が残ります。

ファンドの仕組み

当ファンドはファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。
ファンド・オブ・ファンズとは、複数の投資信託(ファンズ)に投資する投資信託(ファンド)のことをいいます。
ファンドが組入対象とする投資対象ファンド(投資信託証券)は、追加・変更される場合があります。



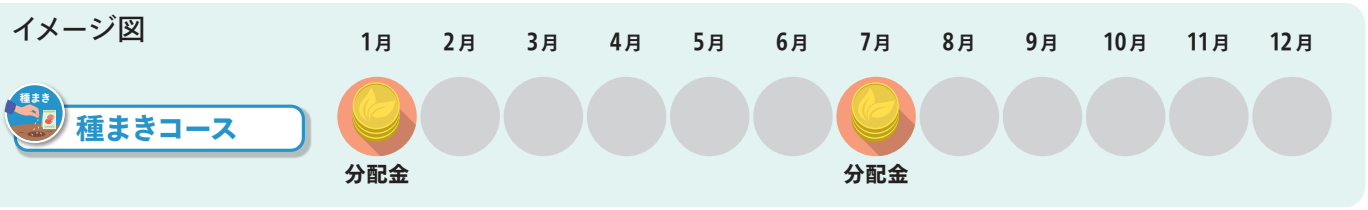
投資対象ファンドの概要につきましては、後掲「追加的記載事項」をご参照ください。
(注) 損益はすべて投資者である受益者に帰属します。

主な投資制限

投資信託証券への投資	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
外貨建資産への投資	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
デリバティブ取引	デリバティブの直接利用は行いません。

分配方針

原則として、年2回（毎年1月、7月の各15日。休業日の場合は翌営業日。）の決算時に、分配を行います。



（注）上記は、将来の分配金の金額について示唆・保証するものではなく、分配を行わない場合もあります。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額の水準・市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。
- 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

（注）将来の分配金について保証するものではなく、分配を行わない場合もあります。

分配金の受取方法により、分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。取扱いコースの有無および各コースの名称は販売会社により異なります。
「一般コース」の分配金は、税引後、原則として決算日から起算して5営業日までに販売会社で支払いを開始します。「自動けいぞく投資コース」の分配金は、税引後、決算日の基準価額で、無手数料で再投資されます。

〈分配金に関する留意点〉
分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

〈追加的記載事項〉投資対象ファンドの概要

投資対象としている投資信託証券の概要は以下の通りです。
- すべての投資対象資産および投資対象ファンドに投資するとは限りません。
- 投資対象ファンドは見直しを行うことがあります。

以下の内容は、本書作成時現在、委託会社が知りうる情報に基づいて作成しておりますが、今後記載内容が変更になることがあります。

投資対象資産		特徴	投資対象ファンド
債券	世界国債	国債	HSBC グローバル・ガバメント・ボンド UCITS ETF
			iシェアーズ グローバル・ガバメント・ボンド UCITS ETF
		物価連動債	iシェアーズ グローバル・インフレーションリンク・ガバメント・ボンド UCITS ETF
			Amundi グローバル物価連動国債 1-10年
	米国国債	国債	HSBC US トレジャリー・ボンド UCITS ETF
		物価連動債	iシェアーズ 米国物価連動国債 ETF
	欧州国債	国債	HSBC ユーロ建て ガバメント・ボンド UCITS ETF
	日本国債	国債	HSBC 日本国債 UCITS ETF
	世界社債	投資適格債	HSBC グローバル・コーポレート・ボンド UCITS ETF
			iシェアーズ 米ドル建て コープ・ボンド UCITS ETF
			iシェアーズ コア ユーロ建て コープ・ボンド UCITS ETF
		短期債	SPDR ポートフォリオ・短期コーポレート・ボンド ETF
			SPDR Bloomberg 0-3年 ユーロ建て コープ・ボンド UCITS ETF
			Vanguard 米ドル建て コーポレート 1-3年 ボンド UCITS ETF
	米国社債	投資適格債	HSBC US コーポレート・ボンド UCITS ETF
	欧州社債	投資適格債	HSBC ユーロ・コーポレート・ボンド UCITS ETF
	世界債券	超短期債	iシェアーズ 米ドル建て ウルトラ・ショート・ボンド UCITS ETF
			iシェアーズ ユーロ建て ウルトラ・ショート・ボンド UCITS ETF
			Vanguard ウルトラ・ショート・ボンド ETF
	高利回り債券	米ドル建て	iシェアーズ ブロード 米ドル建て ハイ・イールド・コープ・ボンド UCITS ETF
			HSBC GIF グローバル・ハイ・イールド・ボンド
		ユーロ建て	SPDR Bloomberg ユーロ建て ハイ・イールド・ボンド UCITS ETF
		先進国通貨建て	iシェアーズ グローバル・ハイ・イールド・コープ・ボンド UCITS ETF
			Invesco グローバル・ハイ・イールド・コープ・ボンド ESG UCITS ETF
		短期債	HSBC GIF US ショートデュレーション・ハイ・イールド・ボンド
			SPDR Bloomberg 短期 ハイ・イールド・ボンド ETF
	新興国債券	現地通貨建て	HSBC GIF グローバル・エマージング・マーケッツ・ESG・ローカル・デット
			HSBC チャイナ・ガバメント・ローカル・ボンド UCITS ETF
			iシェアーズ J. P. Morgan エマージング・マーケット・ローカル・ガバメント・ボンド UCITS ETF
			VanEck J. P. Morgan エマージング・マーケット現地通貨建債券 UCITS ETF
			SPDR Bloomberg 現地通貨建て エマージング・マーケッツ・ボンド ETF
		米ドル建て	HSBC グローバル・エマージング・マーケット・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド
			iシェアーズ J. P. Morgan 米ドル建て エマージング・マーケッツ・ボンド ETF
	ABS（資産担保証券）	投資適格	HSBC GIF グローバル・インベストメント・グレード・セキュリタイズド・クレジット・ボンド
		クロスオーバー	HSBC GIF グローバル・フレキシブル・セキュリタイズド・クレジット・ボンド
		高利回り	HSBC GIF グローバル・ハイ・イールド・セキュリタイズド・クレジット・ボンド
	バンクローン	−	Invesco シニア・ローン ETF
		−	SPDR ブラックストーン・シニア・ローン ETF

- 投資対象ファンド名に「HSBC」を含むファンドの運用は、HSBCアセットマネジメント内の運用会社が行います。
- 投資対象ファンド名の「GIF」とは、「グローバル・インベストメント・ファンズ」の略です。
- 「iシェアーズ」は、ブラックロック・グループが運用するETFブランドです。「SPDR」は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズが運用するETFブランドです。「Amundi」は、アムンディ・グループが運用するETFブランドです。「Invesco」は、インベスコ・グループが運用するETFブランドです。「VanEck」は、Van Eck Associates Corporationが運用するETFブランドです。「Vanguard」は、バンガードグループが運用するETFブランドです。

※投資対象ファンドに該当しなくなった投資信託証券は、該当しなくなった日から1ヶ月以内を目処に売却します。
※上記の投資対象ファンドに加えて、市場環境や収益性を勘案して上場投資信託証券に投資する場合があります。

2 投資リスク

投資信託は元本保証のない金融商品です。また、投資信託は預貯金とは異なることにご注意ください。当ファンドは、主に値動きのある外国の有価証券を実質的な投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。

基準価額の変動要因

〈主な変動要因〉

金利変動リスク	債券価格は、市場金利の変動等の影響を受けます。一般的に、金利が上昇すると債券価格は下落します。なお、その価格変動は、債券の種類、償還までの残存期間、発行条件等により異なります。
信用リスク	債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。
為替変動リスク	為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。円金利がヘッジ対象通貨の金利より低い場合には、これらの金利差相当分のヘッジコストが発生します。為替ヘッジを行っていない部分の外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の為替ヘッジを行っていない通貨に対する為替レートの変動の影響を受けます。
流動性リスク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。
カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引等に関する規制や税制の変更、新たな規制が設けられた場合には、基準価額が影響を受けることや投資方針に沿った運用が困難になることがあります。

基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドの購入の申込みに関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（**クーリング・オフ**）の適用はありません。
- 当ファンドは預金保険・貯金保険の対象ではありません。また、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。
  これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。

リスクの管理体制

- 運用リスクの管理は、運用部門、コンプライアンス部門、投資ガイドライン・モニタリング・チーム、運用から独立したリスク管理部門による複眼的な管理体制を採っております。リスク管理の状況は、定期的に開催されるリスク管理委員会（運用拠点により呼称が変わることがあります。）において報告・審議され、組織的な対応が行われています。

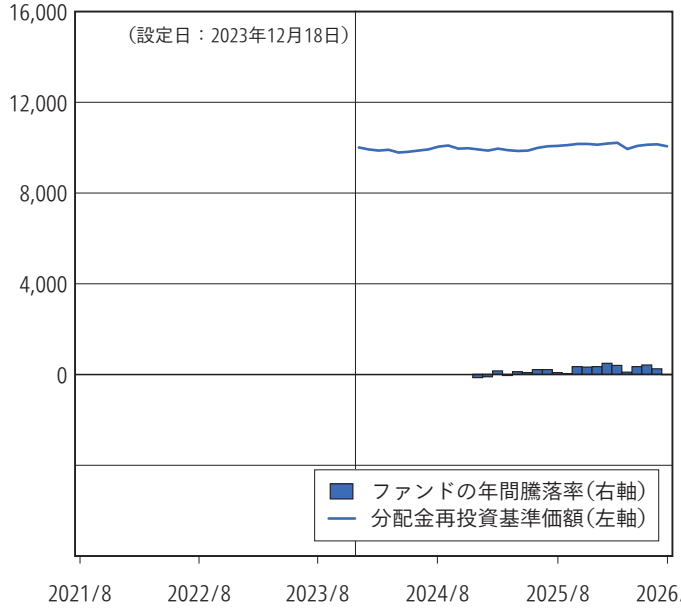
  運用リスクの管理については、ＨＳＢＣアセットマネジメントの代表的な管理方法について記載しております。なお、この体制は本書作成時現在のものであり、今後変更になる可能性があります。

- 流動性リスクの管理については、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。取締役会等において、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

〈参考情報〉

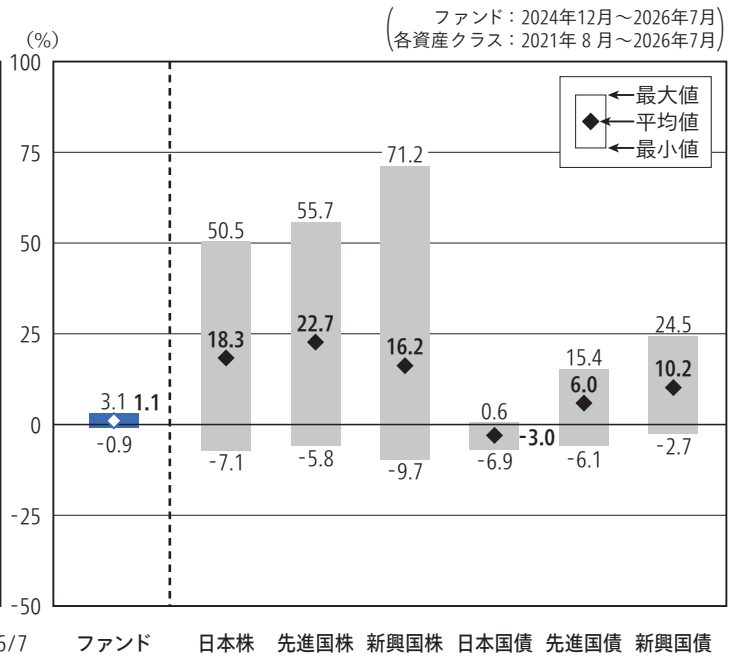
ＨＳＢＣ世界資産選抜 種まきコース(安定運用型)

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



(注)分配金再投資基準価額は、税引き前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算した基準価額であり、実際の基準価額とは異なる場合があります。
年間騰落率は、各月末の分配金再投資基準価額の値を当該月の1年前の値と比較して計算した騰落率(%)であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
分配金再投資基準価額および年間騰落率はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注)グラフは、ファンドについては上記記載の期間、代表的な資産クラスについては上記記載の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるよう作成したものです。なお、代表的な資産クラスのすべてがファンドの投資対象になるとは限りません。
ファンドについては分配金再投資基準価額の騰落率です。

〈代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について〉

各資産クラスの指数
日 本 株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)
(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

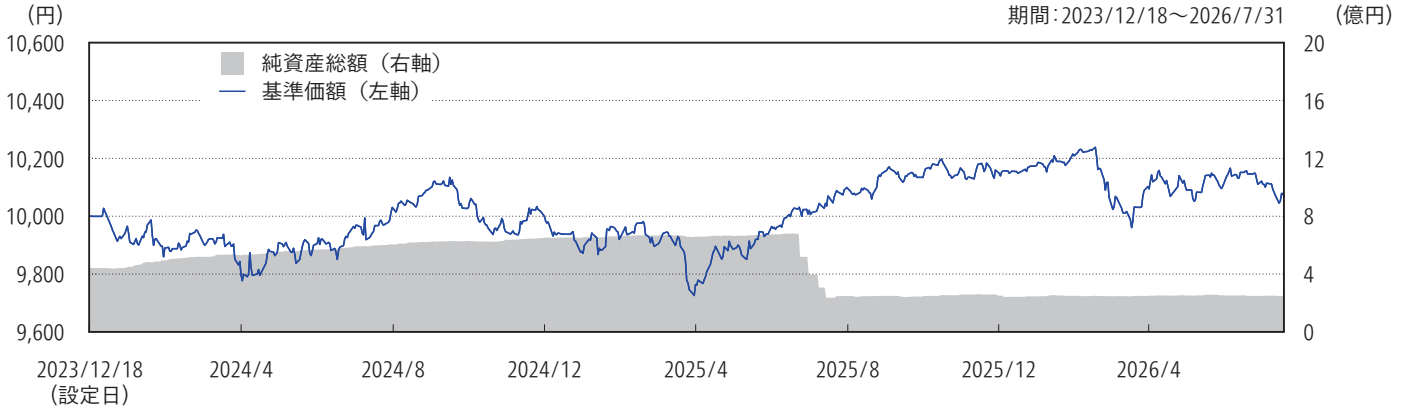
○東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
○MSCI-KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)
MSCI-KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。
○MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。
○NOMURA-BPI国債
NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
○FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

3 運用実績

ＨＳＢＣ世界資産選抜 種まきコース(安定運用型)
(2026年7月末現在)基準価額:10,067円／純資産総額:2.49億円

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

① 基準価額・純資産総額の推移



注:基準価額(1万口当たり)は信託報酬控除後のものです。

② 分配の推移

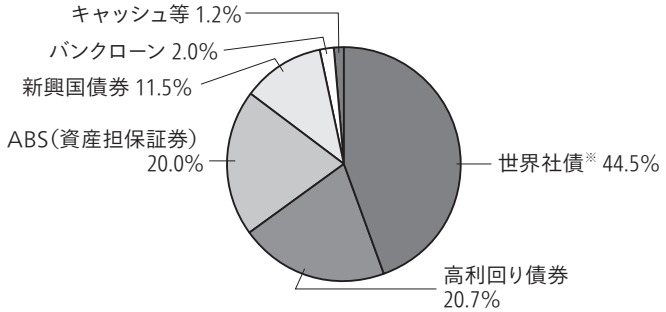
決算期	分配金
第5期(2026年7月)	0円
第4期(2026年1月)	0円
第3期(2025年7月)	0円
第2期(2025年1月)	0円
第1期(2024年7月)	0円
設定来累計	0円

注:分配金は1万口当たりの税引前の金額です。

③ 主要な資産の状況

順位	ファンド名	比率
1	HSBC グローバル・コーポレート・ボンド UCITS ETF	44.5%
2	HSBC GIF グローバル・フレキシブル・セキュリタイズド・クレジット・ボンド	14.5%
3	HSBC GIF グローバル・ハイ・イールド・ボンド	12.7%
4	HSBC GIF US ショートデュレーション ハイ・イールド・ボンド	8.0%
5	HSBC グローバル・エマージング・マーケット・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	6.5%
6	HSBC GIF グローバル・ハイ・イールド・セキュリタイズド・クレジット・ボンド	5.5%
7	HSBC GIF グローバル・エマージング・マーケッツ・ESG・ローカル・デット	5.0%
8	Invesco シニア・ローン ETF	2.0%
	組入ファンド数	8

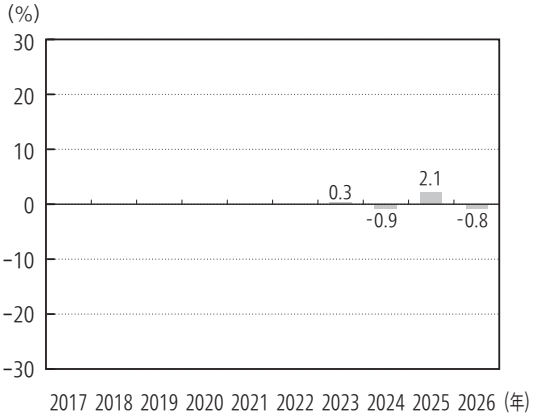
資産配分比率



- 比率は種まきコース内の保有比率(キャッシュ等を含む)を表示しています。
- 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※〈追加的記載事項〉投資対象ファンドの概要に記載の投資対象資産を示しています。ただし、世界社債は世界、欧州等の社債の合計です。

④ 年間収益率の推移



・当ファンドはベンチマークを設けていません。
・ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資して算出しています。
・2023年は、設定日(12月18日)から年末までの騰落率です。
・2026年は、年初から7月末までの騰落率です。

ファンドの運用状況は別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。

4 手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	購入代金は、販売会社が個別に定める期日までに、販売会社に支払うものとします。 購入代金とは、購入金額（購入価額×購入口数）に購入時手数料（税込）を加えた金額です。
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目以降に販売会社でお支払いします。
申込締切時間	原則として午後3時30分までに販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社により異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。
購入の申込期間	2026年10月16日から2027年4月15日まで （当該期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。）
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
申込受付不可日	日本国内の営業日であっても次のいずれかに該当する場合には、購入および換金の申込受付は行いません。 • ロンドン、ニューヨーク、ルクセンブルグの証券取引所または銀行の休業日 • ルクセンブルグのイースター・マンデーの前週の月曜日 • クリスマス（12月25日）から4営業日※前となる日 ※ロンドンの証券取引所または銀行の営業日を指します。
購入・換金の申込受付の中止および取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金の申込受付の中止および取消しを行う場合があります。
信託期間	無期限（信託設定日：2023年12月18日）
繰上償還	ファンドの残存口数が30億口を下回った場合等には、信託を終了させる場合があります。

決算日	毎年1月、7月の各15日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年2回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。 ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。分配金の受取方法により、分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。
信託金の限度額	1兆円
公告	原則として電子公告により行い、委託会社のホームページ （www.assetmanagement.hsbc.co.jp）に掲載します。
運用報告書	交付運用報告書は、毎年1月、7月の決算時および償還時に委託会社が作成し、販売会社を通じて受益者に交付します。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
その他	世界資産選抜（当ファンドを含む4本のファンド）の各コース間でスイッチングが可能です。各コースを換金した受取金額をもって別の各コースの購入の申込みを行うことができます。 販売会社によっては、一部のコースのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。 詳しくは販売会社にご確認ください。 • 基準価額（1万口当たり）は、翌日の日本経済新聞朝刊に「人生百年種ま」の略称で掲載されます。 • 委託会社の判断により購入申込の受付を中止した場合等において、販売会社が定める定時定額による受付を継続することがあります。

ファンドの費用・税金

〈ファンドの費用〉

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入金額に、1.65%（税抜1.50%）を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額を購入時にご負担いただきます。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。 （購入時手数料は、商品内容の説明ならびに購入手続き等にかかる費用の対価として、販売会社に支払われます。）
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用（信託報酬）	年0.803%（税抜年0.73%）以内	ファンドの日々の純資産総額に信託報酬率を乗じて得た額とします。 ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。
（委託会社）	税抜年0.35%以内	ファンドの運用等の対価 （運用委託先への報酬が含まれます。）
（販売会社）	税抜年0.35%	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	税抜年0.03%	運用財産の管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
投資対象とする投資信託証券	投資対象とする投資信託証券の実質投資比率を勘案した運用管理費用がかかります。 ※投資対象とする投資信託証券においてかかる運用管理費用は銘柄ごとに異なり、また組み入れる投資信託証券の銘柄および比率等は固定されていないため、事前に料率、上限額等を表示することができません。	
実質的な負担	年0.923%（税抜年0.85%）*程度	投資対象とする投資信託証券の運用管理費用を加味して、投資者が実質的に負担する運用管理費用について算出したものです。
その他費用・手数料	ファンドの保有期間中、その都度ファンドから支払われます。 ・有価証券売買委託手数料／保管銀行等に支払う外貨建資産の保管費用／信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用等 ・振替制度にかかる費用／印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用／監査法人等に支払う監査報酬等 〔純資産総額に対し上限年0.20%（税込）として日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。〕 ・投資先投資信託証券における売買にかかる手数料、租税、カストディーフィー、監査報酬等 その他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率等を記載することができません。	

＊本書作成時点のものであり、今後変更になることがあります。

ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

〈税金〉

税金は表に記載の時期に適用されます。
以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時　期	項　目	税　金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金（解約）時および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- 少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合
  少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。
  ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- 法人の場合は、上記とは異なります。
- 上記は、2026年7月末現在のものです。
- 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

（参考情報）ファンドの総経費率

直近の運用報告書の対象期間（2026年1月16日～2026年7月15日）における当ファンドの総経費率は以下の通りです。

	総経費率（①＋②）	①運用管理費用の比率	②その他費用の比率
種まきコース	1.31%	0.81%	0.50%

※対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。消費税等のかかるものは消費税等を含みます。）を、対象期間の平均受益権口数に平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した値（年率）です。
※投資対象とする投資信託証券（以下、投資先ファンドといいます。）にかかる費用は、その他費用（②）に含めています。
※投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
※これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
※詳細につきましては、対象期間の運用報告書（全体版）をご覧ください。

≪ＨＳＢＣグループおよびＨＳＢＣアセットマネジメント≫

- ＨＳＢＣグループの持株会社であるＨＳＢＣホールディングスplcは、英国・ロンドンに本部を置いています。ＨＳＢＣグループは、世界の56の国と地域でお客さまにサービスを提供し、その歴史は1865年の創業に遡る世界有数の金融グループです。
- 委託会社が属するＨＳＢＣアセットマネジメントは、個人・事業法人・機関投資家に投資ソリューションを提供する、ＨＳＢＣグループにおける資産運用部門の総称です。ＨＳＢＣアセットマネジメントは20の国と地域に拠点を持ち、それぞれのマーケットを深く理解している国際的なネットワークを活かして、お客さまにグローバルな投資機会を提供しています。

上記は2025年12月末現在知りうる情報であり、今後変更になることがあります。

（ＨＳＢＣアセットマネジメント株式会社は社内規程に基づき、クラスター爆弾または対人地雷の使用、開発、製造、備蓄、輸送または貿易に直接関与する企業への投資は行いません。）

〈追加的記載事項〉

ファンドの名称については、正式名称ではなく略称等で記載する場合があります。

正式名称	略称
ＨＳＢＣ世界資産選抜　種まきコース（安定運用型）	種まきコース（安定運用型）
	種まきコース

なお、本書において、当ファンドを含む以下の４本のファンドを総称して「世界資産選抜」、その愛称として「人生100年時代」という場合があります。

①ＨＳＢＣ世界資産選抜 育てるコース（資産形成型）
②ＨＳＢＣ世界資産選抜 収穫コース（予想分配金提示型）
③ＨＳＢＣ世界資産選抜 充実生活コース（定率払出型）
④ＨＳＢＣ世界資産選抜 種まきコース（安定運用型）